

社会資本整備審議会 道路分科会 第24回北海道地方小委員会

議事概要

1. 日時 令和2年7月15日(水) 10時00分～12時00分
2. 場所 札幌第1合同庁舎 2階 講堂  
(札幌市北区北8条西2丁目)

3. 出席者

[委員長]

田村 亨 北海商科大学 教授

[委員]

片石 温美 中央大学研究開発機構 教授(客員) (WEB)

加藤 由紀子 北海商科大学 教授

久保 俊幸 北海道商工会議所連合会 副会頭

島本 和明 日本医療大学 総長

菅井 貴子 気象防災キャスター

高橋 清 北見工業大学 教授

平岡 祥孝 札幌大谷大学 教授

4. 議事

- (1) 計画段階評価について 日高自動車道 静内～三石 第2回目

【委員からの主な意見】

- ・ 苫小牧市との結び付きが強い地域であるが、苫小牧市へ向かう道路が国道235号しか存在していないため、代替路という観点が重要。
- ・ 夏期に交通にも影響が出るほど高頻度で濃霧となる地域であるため、検討にあたっては留意すべき。
- ・ 災害時に活用できる道路である必要があるため地震が多い地域でもあり、津波浸水予測範囲の回避は重要。一方、日高自動車道は生活交通を支える役割もあるので、各市街地からのアクセス性も重視すべき。
- ・ 防災面の緊急度が高い地域であるため、地域の防災計画との連携や災害時の道路の使われ方についてもヒアリング時に関係団体から聴取すべき。

- (2) 計画段階評価について 旭川・紋別自動車道 遠軽～上湧別 第2回目

【委員からの主な意見】

- ・ 計画段階評価の対象区間だけでなく、紋別までを結ぶ路線として、地域を面的な視点で考えることが重要。

- ・旭川・紋別自動車道という路線名称であるが、旭川市と紋別市の結び付きのみを考えるのではなく、北見方面への結び付きについても考慮すべき。
- ・地域意見聴取の際には、主要産業である水産業の地域事業者にも聴取すべき。また、オホーツク紋別空港や女満別空港からの二次交通としても高規格幹線道路は重要であるため、空港事業者にも聴取すべき。
- ・医療体制が脆弱である遠紋地域から三次医療機関がある北見市や二次医療機関がある遠軽町へのアクセス性を向上させることが重要。
- ・北海道の地方部にとって冬期孤立は課題であり、冬期でも安全・安心して利用できることが重要。

**【委員長による総括】**

- ・本日の意見を踏まえたうえで、地域意見聴取を進めていただきたい。

以 上